

学校図書館による学習支援2



◇学習を支える学校図書館の環境づくり **[NEW]**

■協働による図書館運営

～職員との連携・学校司書間の連携・公共図書館との連携～

■探究学習を支える環境づくり

～地域学習に特化したコーナー設置、ブックリスト・パスファインダーの作成～

(名護市立小中一貫教育校 屋我地ひるぎ学園)

◇図書館の資料や場所を活用した授業実践

■各教科等と連携した読書旬間の取組み

「文壇ストレイドッグス～文壇で活躍する(した)作家をキャラクター化せよ」

(沖縄県立名護高等学校)

令和5年度学校図書館司書研修会実践発表 (追加) **[NEW]**

◇協働による学校図書館運営

(1) 基本的な運営

①学校図書館の年間運営計画

- ・学校経営方針の下、年間運営計画を作成し、それに基づいて運営
- ・職員会議での共通確認

まず、基本的な運営ですが、学校図書館は学校経営方針の下、年間運営計画を作成し、それに基づいて運営を行っています。計画作成には、児童生徒や、家庭・地域等の実態を鑑みて図書館主任と学校司書を中心に学校図書館目標の作成や提案に協働であたります。



図書館主任 金城 光恵先生

②読書指導・利用指導

- ・各教科や領域を通し、発達段階に応じて指導
- ・図書館オリエンテーションを国語の授業の中で実施



計画を立てる段階から協力し合っているんだね

読書指導や利用指導は、各教科や領域等を通し、学級や図書館主任を中心に行いますが、本校は、毎年図書館開きの際に、全学年図書館オリエンテーションを国語の授業の中に組み込むよう、図書館主任や教諭、学校司書とで調整をしています。その際に、図書館とはどういう場所なのか、本校の利用方法や検索方法などを確認します。

学校司書としては、できる限り授業を参観したり、参加したりしながら、子どもたちがどのように資料を使うのか、興味のあるテーマは何かなど観察しながら読書指導や利用指導を支援します。

③部会・ブロック会

- ・部会やブロックでの取り組みの共有
- ・児童生徒等の様子を学級担任や生徒指導担当と情報交換

全職員が、部会や毎週のブロック会に配置されています。このような会は職員会議に比べ少人数なので、細かいところまで情報を共有することができるのが利点です。学校図書館としてこういった取組や対応をしてほしいといった意見交換や共通確認ができるほか、学校図書館の本の特集や掲示物の作成等を学校活動全体と関連付けて行うことに役立っています。

そして、児童生徒の様子を伝え合い、職員同士のコミュニケーションの場となるなど、何でも気軽に相談しあえる職場になっていると感じます。会の会場が図書館ということもあり、図書館の活動をアピールするチャンスにもなっています。



学校司書 大城さやかさん



部会

「小学部会」小学校職員所属

「中学部会」中学校職員所属

ブロック会

「前期ブロック会」1年生～4年生担当職員所属

「中期ブロック会」5年生～7年生担当職員所属

「後期ブロック会」8・9年生担当職員所属

※屋我地ひるぎ学園は小中一貫校です。

(2) 学習の支援



5年生 国語単元「町じまん」をすいせんしよう

図書館にある名護市の観光リーフレットやパンフレットを使い、各自のテーマを決めている様子。食べ物やスイーツが人気でした。

いつ、どの資料が使われるか 一目でわかる
と便利だね



① 学年月別レファレンス記録をつける

- ・名護市の学校司書研修会において記録をつけることを決定
- ・見通しをもった学習支援の実施
- ・学校図書館から各教諭へ情報提供 ~教科横断的な活用につながることも

学年月別レファレンス記録一覧

学年月別レファレンス記録一覧											
1	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
2											令和2年度
3											屋敷地ひろぎ学園
4	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	その他	
4					あまんきりたんぽ餅(国)						4月
5											
6											
7	絵本(国)	図書館へいこう(国)	屋敷地の干風の生動物マンガロープ(誌)		漢文・語彙の本(国)	新聞の仕組み	エッセイに親しむ(国)	屋敷地の秩敷について(晋)	国歌の歴史(国)	好きな達人について(国)	5月
8		おいしい野菜を育てよう(生)									
9		すめいとあり(国)	発見ノートを作ろう(国)	読書からたのむ(国)	読書ノートを作ろう(国)			読書活動 本の帯・POP	スキットコンテスト(英)		
10		まきものういすを作ろう(国)	読書からたのむ(国)					野外観察(花)			
11			戦争・平和に関する本(特集)	(各課の白持別号4年生以上新聞記事)					平和メッセージ展報告書(国)(特集)		
12				屋敷地の干風の生動物マンガロープ(誌)	分類をもとに本を貸しつう	言葉と事実(国)	古典の本(国)				6月
13					屋敷地の行事について(誌)	人のたんじゆめ(理)	血液について(理)			ブックポップ作成(読書週間)のための本を探そう	
14					ぐらぶのぐらぶ						
15					読者の本(国) 好きな歌を贈す						
16					屋敷地の干風の生動物マンガロープ(誌)						
17											
18	7・8月	昔話の本を読む(国)		動物が家場する本(国)	名作・伝記の本	落語の本(国)	新聞に関する本(国)	アジサン・読書(誌)	屋敷地の各字調査(誌・社)		7・8月
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25	10月	熊(生)・栗(生)の本(国)	昔話(国)	絵文字・ピクトグラムの本(国)							
26											
27											
28											
29											
30											
31											
32											
33											
34											
35											
36											
37											
38											
39											
40											
41											
42											
43											
44											
45											
46											
47											

学習支援をスムーズに行うために、名護市の学校司書が集まる研修会では、学年月別レファレンスの記録をつけるよう話し合いました。レファレンスとは、利用者からの質問・相談を受けて調べものに必要な資料を探すお手伝いをする事です。表の縦軸は月、横軸は学年となっています。この記録をつけることで、ある程度、どの月にどのような調べ学習がはいつてくるのかの把握ができ、前もって教諭との事前打ち合わせや、資料の準備、他学年との本の重なりを調整することができま

す。また、異学年で関連付けられそうな教科や単元も一覧で見ると分かりやすいので、学校図書館から各教諭へ情報提供もできます。そういった情報提供が、「故事成語かるた大会」のような学年や教科を横断したコラボ授業へとつながることもあります。

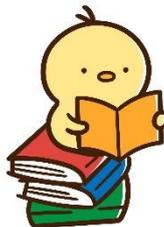
(2) 学習の支援

②レファレンス回答票の作成

- ・名護市の学校司書研修会において様式を作成
- ・継続的、長期的な学習支援の基盤づくり



学校司書 大城さやかさん



データの蓄積が、
学習の質を保つこ
とにつながってい
るんだね

名護市学校司書会では、学習支援をより効果的なものにするために、教諭や児童生徒からレファレンスを受けた際に、記録を残しやすいように、レファレンス回答票という様式も作成しました。さきほどの月別一覧は、レファレンスの“質問内容”のみの記録ですが、こちらには、授業の様子、キーワードや準備した資料、教諭からの資料の評価なども載せる欄があります。

授業に実際入ってみると分かるのですが、ただキーワードや単元名を聞いただけで使いたい資料を集めた場合と、何をねらいにした授業で、何時間の配当があって、最終的なまとめ方はこう考えているなど、教諭が意図していることを学校司書に少しでも多く伝わっている方が、本当に必要な資料の提供につながると感じます。

ですので、細かなレファレンスインタビューと、記録の蓄積は、人事異動等で職員の入替わりがあっても、それをベースによりよい学習支援へつながると思いますので、日々、忙しい中ですが、隙間時間を見つけ、教諭・司書教諭・図書館主任・学校司書ともに話し合いをすることが大切だなと思います。

レファレンス回答票

レファレンス回答票										学校名:	屋我地ひるぎ学園			番号	19																	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
受付日		令和 2年 5月 日		レファレンス内容		資料案内・事実調査																										
質問者		(3 年生) ・ 一般(教諭)		教科		総合(美ら島タイム)																										
テーマ(質問)		干潟の生き物やマングローブについて																														
キーワード		郷土 屋我地 干潟 マングローブ トビハゼ シオマネキ コメツキガニ 貝 エビ																														
調査方法		3年生は総合で学校周辺の干潟へ生き物の調査へ行く。事前、事後の学習として年間を通し図書館所蔵の郷土資料や、干潟の生き物についての図鑑等で調べ学習を行う。学級ではインターネット等での調べ学習も行う。																														
参考資料																																
No.		書名		著者・出版社		請求記号		ページ		出版年		所蔵元・URLなど		アクセス日																		
1		ぶりでい子ども博物館(平成21年度)		名護博物館								所蔵あり																				
2		ぶりでい子ども博物館(平成23年度)		名護博物館								所蔵あり																				
3		羽地内海うむしるむん図鑑		羽地内海の自然を守り育む会						2008		所蔵あり																				
4		沖縄のサンゴ礁を楽しむ 磯の生き物		屋比久辻実/著		K480				2004		所蔵あり																				
5		やんばるの川や干潟のヒルギたち		たまきまなぶ/さわやかヒルギ塾研究会		K472				2007		所蔵あり																				
6		海と生きる森 マングローブ林		国際マングローブ生態系協会		K653				1998		所蔵あり																				
7		私たちのマングローブ		東村役場企画課		K462				1999		所蔵あり																				
8		マングローブの生き物たち 西表島 改訂版		吉見光治/著		K462				1993		所蔵あり																				
9		マングローブ生態系探検図鑑		備成社		K653				2017		所蔵有																				
10		海辺のエビ・ヤドカリ・カニハンドブック		文一総合出版								R4購入へ																				
11		海辺の生きもの大探検！生物多様性から環境問題まで		PHP研究所								R4購入へ																				
12		干潟生物観察図鑑 干潟に暮らす生き物の生態と見つけ方がわかる		誠文堂新光社								R4購入へ																				
<回答・備考>																																
上記郷土資料を中心に調べ学習を一緒に行い、足りない部分を図鑑等で補っている。備成社の「マングローブ生態系探検図鑑」を発注中。																																

教諭: いつ、だれが使うのか・どのような単元か・必要な冊数・準備された資料の評価
学校司書: 資料の準備・対応方法や授業の様子記録・購入計画

(2) 学習の支援

③市内小中学校とのレファレンスの共有

・学校図書館メールアドレスを活用した情報共有

ただ、そうはいつでも学校現場はご承知のとおり本当に毎日忙しく、大規模校などでは一日会うことすらない教諭もいますし、司書教諭や図書館主任も学級担任であったり、授業があったりとなかなか時間を合わせるのが難しいです。また、学校司書も、通常の業務をこなしながら子細にレファレンス記録を付けていくことは容易ではありませんし、学校司書としてのキャリアも様々です。

ですので、名護市の学校図書館間では、少しでもこういった課題を全体でカバーできるように、レファレンスの情報共有を行っています。共有のツールとしては、名護市教育委員会に業務向上のために数年前に各学校図書館のメールアドレスを作成していただきましたので、メールで資料のやり取りを行っています。現在進行形で対応中のレファレンスの共有もあれば、すでに解決済みの記録を情報として共有する場合があります。

5月6年生国語「随筆に親しもう」

レファレンス回答票				学校名:	屋我地ひるぎ学園	番号:	19
受付日	令和2年5月 日	レファレンス内容	所蔵調査・資料案内		事実調査その他		
質問者	6年生・一般(教諭)	教科	国語(随筆に親しもう)				
テーマ(質問)	エッセイを読む。小学生でも読みやすいエッセイを紹介してほしい。						
キーワード	随筆 エッセイ 手記						
調査方法	随筆に親しんだあと、随筆を書こうへつながる。						
参考資料							
No.	書名	著者・出版社	請求記号	ページ	出版年	所蔵元・URLなど	アクセス日
1	ヨチヨチ子	ヨシタケシンスケ	599			中央図書館	
2	おなががすいたハラペコだ。	椎名誠	914			中央図書館	
3	胃弱バズ(コミックエッセイ)	マキゾウ	726			中央図書館	
4	秋田大げんき(フォトエッセイ)	保坂秀幸/文・写真	YA645			中央図書館	
5	赤毛のアンに出会う旅	折原みと/作	930			中央図書館	
6	あのこと	さくらももこ	914			所蔵あり	
7	おんふにだっこ	さくらももこ	914			所蔵あり	
8	さくら日和	さくらももこ	914			所蔵あり	
9	さるのこしかけ	さくらももこ	914			所蔵あり	
10	そういうふうに見える	さくらももこ	914			所蔵あり	
11	たいのおかしら	さくらももこ	914			所蔵あり	
12	ひとりずもう	さくらももこ	914			所蔵あり	
13	またたび	さくらももこ	914			所蔵あり	
14	ももこのトンチモ大冒険	さくらももこ	914			所蔵あり	
15	ももこの話	さくらももこ	914			所蔵あり	
16	アラスカ光と風	星野道夫	914			所蔵あり	
17		星野道夫				所蔵あり	
<回答・備考>							
所蔵している資料だけでは資料が少なかったため、中央図書館より、フォトエッセイやコミックエッセイ、旅行記等も含め借受し、提供した。次年度に備え、椎名誠のエッセイ(椎名誠エッセイコレクション第2集全巻新日本出版社)を追加購入検討中。次年度に向け、6年生に勧められるエッセイを他校へも聞いてみる。							
椎名誠エッセイコレクション購入『この道をごまでも行かんた』『毎朝ちがう風景があった』『旅の窓からでっかい空をながめる』							

中学校 2年国語 「随筆 体験に向き合い意味づける」

⇒(大宮中)
皆さんの学校とも同様、さくらももこの図書資料が良いのか、例年、上記と同様「もものかんづめ」「さるのこしかけ」等の貸し出しを行っています。その他、随筆(エッセイ集)などを紹介していただければ役に立っているかは不明です。
その他、絵本「ことばのかたち」で有名なおーなり由子さんの図書「天使のみつけかた」「きれいな言葉」
又吉直樹「東京百景」/徳村弘「よっ記」/星野源「いのちの車窓から」/「ベスト・エッセイ2019」等。
また、教科書紹介本として向田邦子の作者提示がある場合は、「父の詫び状」「眠る杯」等を提示していますが、難しい内容の為、なかなか厳しいかと思います。
また、最終的には、「随筆を書いてみよう!」と授業の構成としてはなるようで、
「考えを伝える随筆を書く物語を書く詩を書く短文・俳句を作る」
「みんなが書ける!あつめて、まとめて、書く技術3(意見文を書くパンフレットを作る)」
のような資料も借りていましたよ。…随筆の書き方が学べる資料を購入して準備するのの一つの手なのかもしれません。でも、指導者に応じて必要な資料課は不明です。…。以上、参考に
⇒(東江中)
・『やわらかなレタス』江國香織 文春文庫
・(1年教科書)に記載あり「字のない葉書」私の本棚:日常を見つめる随筆
・『阿佐ヶ谷姉妹のほほんふたり暮らし』阿佐ヶ谷姉妹 幻冬舎文庫
が、あります。江國が分かりやすく、短いので良いと思ったのですが、中1にはとっつきにくいでしょうか。
⇒(久辺中)
個人的にエッセイが好きなので、
・『3時のおやつ』ポプラ文庫 30人の作家によるおやつにまつわる短編エッセイ集
・『ガアテマラの弟』片桐いり、幻冬舎文庫 ふきさんのおすすめで読んだもの
・『百姓貴族』荒川弘新書館 コミック農家エッセイ。北海道は乳製品の自給率300%なんですって!
・『ふくふく本棚』「フンスカジャム」くどわいん、福音館書店HP
https://www.fukuinkan.co.jp/blog/detail/?id=516
商業的なエッセイ連載ですが、詳しいあとがきのように面白くて読んでいます。
60
61
62 群ようこの「トラちゃん」
63
64

こちらは、市内の0中学校の学校司書より、中学校2年国語の「随筆 体験に向き合い意味づける」でレファレンスを受けたという相談があり、本校は先ほどの小学部での対応を情報提供、他の中学校や小学校からも情報をえることができたようでした。また、足りない資料に関しては学校間で相互貸借も行うこともあります。

(2) 学習の支援

④ 公共図書館との連携

- ・公共図書館司書・学校図書館司書合同研修の実施
- ・情報共有はお互いの利益につながる

団体貸出申請書				
名護市立中央図書館 担当者 様				
4	受取希望日	2022/5/18(水)	依頼日	2022/5/18
5	受取希望時間	窓口受け取り	学校名	屋我地ひるぎ学園
6	受取担当者	屋我地ひるぎ学園 学校司書 大城	依頼者	学校司書 大城さやか
7	利用対象者	中学校2年	学年・職名	
8	教科(単元名)	英語	TEL	0980-52-8162
9	テーマ	授業でスキットコンテスト(寸劇)に使用	FAX	0980-52-8488
10	図書内容	ウクライナの昔話	E-mail	
11	貸出希望冊数	各一冊		
13	評価	書名	著者または出版社	請求記号
14	1	森はざわめく ロシア民話		983コ A-2
15	2	わらのうし ウクライナの昔話		Eゴ A-2
16	3	空とぶ船とゆかいななかま ウクライナのむかしばなし		Eゴ A-2
17	4	セルコ ウクライナの昔話		Eゴ A-2
18	5	世界に伝わる本当に怖い話 下巻		147セ2 開架児童
19	6	かものむすめ ウクライナ民話		Eヤ 公開
20	7	びんぼうこびと ウクライナ民話		Eオ 閉架
21	8	麦の穂 ウクライナ民話		Eラ 閉架
22	9	こわいけど知りたい世界のようかい話 特装版どきどきわくわくシリーズ12		BM908コ がじまる号
23	10			

月に一度、公共図書館の司書と学校司書の合同研修会があるため、担当者との直接のやり取りがスムーズです。また、こうした学校図書館側からの情報提供によって、公共図書館の選書へもつながると話していました。

学校図書館に相談したら、何かしら収穫があった、と感じてもらえるように、日ごろからの多方面との組織的な連携や情報共有といった、地道な取り組みが大切だと感じます。



名護市立中央図書館の仲村さんと伊禮さんに学校図書館との連携についてきいてみたよ

名護市立中央図書館 学校図書館支援の取り組み

- 1 連携の経緯
- 2 具体的な連携の方法
- 3 成果と課題

1 連携の経緯

連携が密になったのは、15年ほど前からの人事異動で、双方を行き来するようになったことがきっかけだったと思います。このことを機に名護市の司書は、公共図書館での経験と学校図書館での経験を積み、異動先で培った司書としてのスキルを活かしながら、少しずつではありますが、両方の立場を理解し合いながら連携を進めることが可能となりました。



名護市立中央図書館司書 仲村牧乃さん

2 具体的な連携の方法

(1) 学校司書研修会への職員派遣

学校図書館担当職員が市内小中学校司書研究会の研修に参加し連携を図っています。これは、名護市子どもの読書活動推進計画の策定時に行なわれていた「連絡協議会（名護市の読書推進に係る代表者会議）」からの流れです。



R4 年度研修会の様子

講師：名護市 GIGA スクールサポーターの皆さん
会場：東江中学校図書館
※市内各学校司書・中央図書館司書各1名参加

(2) 団体利用申請書による資料支援

(3) 市内小中学校ベストブックの紹介

4月23日子ども読書の日関連事業です。



(4) 名護市推薦図書リストの作成

名護市推薦図書 100

- ・小学校向け 60冊（学校司書選書）※各分類から各6冊（低・中・高学年各2冊）選定
- ・中学校向け 20冊（学校司書選書）※学年に関係なく各2冊～3冊選定
- ・郷土資料 10冊（公立図書館司書選書）
- ・未就学児向け 10冊（公立図書館司書選書）



名護市立中央図書館司書 伊禮奈津子さん

(5) 学校支援につながる情報発信

名護市立中央図書館司書が学校司書支援につながる情報をメールにより発信しています。

3 成果と課題

(1) 成果

- ①月に一度の研修会で市内小中学校司書との情報交換と情報発信、また、連携の共通確認を行うことができます。
- ②市の読書推進を協働で進めることができます。

(2) 課題

- ①学校図書館支援の方法はまだまだ模索中です。
- ②学校司書の積極的な関わりに支えられている点が多いので、今後は、公共図書館側からの積極的な発信をどうするかが課題です。
- ③名護市子どもの読書活動推進計画の改定をどのようにすすめるのか、
- ④推薦図書リストの改定をどのようにすすめるのか、
今後も一つ一つの課題の解決に向けて協力して取り組んでいきたいと思ひます。



名護市立中央図書館司書 仲村牧乃さん

(2) 学習の支援

⑤ 屋我地資料コーナーの設置

- ・探究的・教科横断的学習の支援
- ・学校の実態に合わせた資料コーナー設置



学習を支援するうえで、図書館の環境整備は大切な業務の一つだと思います。屋我地ひるぎ学園は、屋我地の地域資源を生かした探究的・教科横断的な学習「美ら島タイム」が本当に活発で、図書館を活用した郷土の調べ学習が頻繁にあります。その為、屋我地地域に関する資料を目的に来館する児童生徒が多いのですが、これまでは「おきなわの本」という郷土資料コーナーの中に、沖縄県全体に関する資料・名護市に関する資料・屋我地に関する資料をまとめていました。そこで、学校の実態に合わせ、屋我地地域に関連する資料を抜き出し、別に棚を設けました。そこには、屋我地に関する切り抜きや学校誌なども併せておいています。そうすることにより、必要な資料へすばやくたどり着くことが出来ますし、個別の棚が出来たことで、地域資料の全体把握と、なにより地域に対する関心が高まり、地域資料に興味をもってもらえるようになったと思います。

⑥ ブックリストの作成

- ・継続的、長期的な学習支援

また、これまで屋我地に関する調べ学習の授業で使用した、各学年の探求課題ごとのブックリストを作成し、保存しています。こうすることで、これまでの学びを活かし、さらに発展した取り組みができるとともに、今後教諭や図書館主任、学校司書がかわっても、協働的な図書館運営をする上でも役立つ資料ができたと思います。



学校司書 大城さやかさん

学校の大切な資料として引き継がれていくんだね！安心して学習を続けられるね。



テーマ：屋我地について



～屋我地についての調べものをする際に役立つ資料のリスト～

ブックリスト目次

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ①屋我地の歴史や各学について | ②屋我地の年中行事について |
| ③学校(屋我地ひるぎ学園)について | ④干潟・マングローブ生態系について |
| ⑤渡り鳥・アジサシについて | ⑥塩づくり・塩田について |

【付録】まずは事典で調べてみよう！

(2) 学習の支援

屋我地ひるぎ学園図書館ブックリスト 令和3年12月21日作成

①屋我地の歴史や各字について

No.	資料名	著者・出版社	請求記号	出版年	所蔵館・配架場所など
1	名護市の文化財第5集	名護市教育委員会	K709	2014	おきなわの本コーナー
2	名護市史本編11 わがまち・わがむら	名護市史編さん委員会	K709	1988	カウンター内書架
3	名護市史本編7 社会と文化	名護市教育委員会	K219	2002	カウンター内書架
4	別巻1 写真集・名護ひとびとの100年	名護市教育委員会	K748	1990	カウンター内書架
5	第17回企画展 屋我地 その歴史と自然	名護博物館	K219	2000	屋我地資料コーナー
6	沖繩園頭の村落 下巻	新星出版	K291	1982	カウンター内書架
7	屋我地の今と昔	名護市立屋我地小学校	K219	1987	屋我地資料コーナー
8	屋我地地区の墓	名護博物館	K385	1992	屋我地資料コーナー

関連機関

- ①屋我地支所 〒905-1632 名護市字隼平名 1177 番地1 ☎0980-52-8101/0980-52-8957 FAX:0980-52-8216
 ②隼平名区(隼平名農村集落総合管理施設) 〒905-1632 名護市字隼平名 105 ☎0980-52-8968
 ③我部区(我部公民館) 〒905-1633 名護市字我部 27 ☎0980-52-8187
 ④運天原区(運天原地域力発信交流拠点施設) 〒905-1634 名護市字運天原 199 ☎0980-52-8121
 ⑤清井出区(清井出農村集落総合管理施設) 〒905-1635 名護市字清井出 850 ☎0980-52-8122
 ⑥屋我区(屋我農村集落総合管理施設) 〒905-1631 名護市字屋我 94 ☎0980-52-8764
 ⑦名護市役所ホームページ 行政区別人口および世帯数(統計過去データあり) <https://www.city.nago.okinawa.jp/about/population/> ☎0980-53-1212

作成したブックリストには、資料名や著者・出版社・配架場所などとともに、ICT(クロムブック等)を活用した調べ学習で使用できるように、関連機関や、有用なサイトのホームページのアドレスも紹介しています。

⑥パスファインダーの作成

・情報リテラシー



【ステップ5】インターネットで探してみよう。

※確実な情報なのかを確認して使おう。検索サイト名、アクセス日の記録をしておくといいですよ。

・一般社団法人 日本養蜂協会 <http://www.beekeeping.or.jp/>

・山田養蜂場 みつばちの不思議なくらし <http://honey.3838.com/lifestyle/>

(監修 酒井哲夫 元・玉川大学ミツバチ科学研究所長)



【ステップ6】関連機関や専門家に尋ねてみよう。

・玉川大学ミツバチ科学研究センター

できるだけEmailでご連絡下さい。HSRC@agr.tamagawa.ac.jp

TEL:042-739-8685 FAX:042-739-8338 194-8610 町田市玉川学園 6-1-1

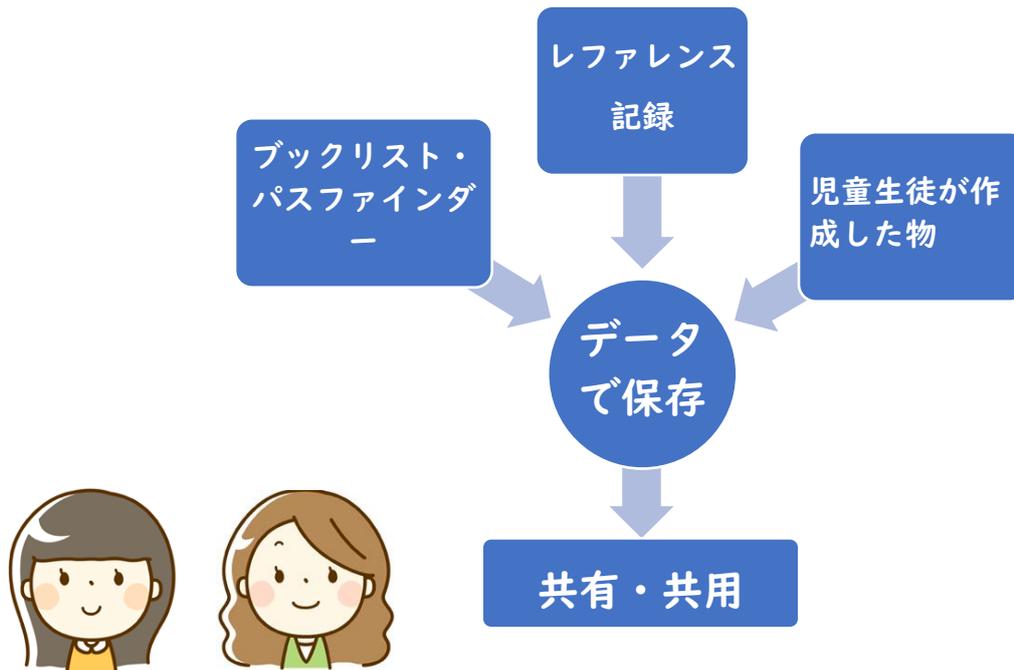
パスファインダー(調べ方の案内)を随時制作しています。これは、4年生の総合学習のテーマ「はちみつ探検」のパスファインダーです。制作の途中途中で、関係教諭に意見を聞きながら進めています。

その中で、図書館にある資料の紹介以外にも、インターネットで探してみようという項目を設け、有用なサイト名やホームページアドレスを掲載するようにしています。また、「調べた検索サイト名やアクセス日の記録をしておくといいですね」などの情報リテラシーへつながるコメントも入れるようにしています。

それ以外にも、教諭より受けたレファレンスの質問内容によっては、図書資料はもちろんですが、最新のデータや映像資料があるとさらに効果的だと思うものもありますので、各種インターネット上のデジタルアーカイブや証言動画のサイトなども紹介しています。

(2) 学習の支援

⑦今後の取組み ～ データによる情報保存・共有・共有

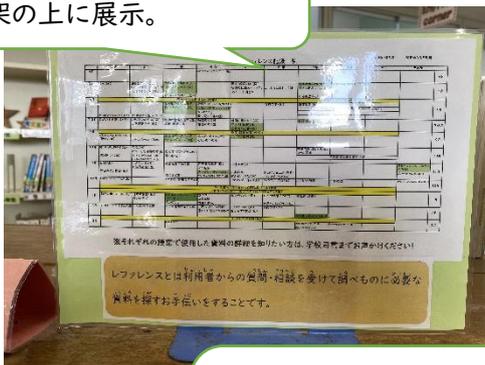


これは今後の構想ですが、こういった学校図書館作成のパスファインダーや、ブックリスト、レファレンス一覧等を児童生徒、教諭、市内の学校司書等がICTを活用し自由に閲覧できるように、図書館主任や校内ICT担当・外部のICT推進担当等と連携し、形を整えていきたいと考えています。

これまで学校図書館として紙で作成した資料やデータは配布したのち、一過性の使用で終わることが多くありました。そこで、ICTという便利なツールを使い、情報をデータ化・保存し多くの人と共有・共用することで、学校図書館の学校での役割がさらに重要になっていくのではないかと思います。

そして、そのためにもICT機器の扱い方はもちろん、著作権や情報モラル等についての知識をつけるための研修等にも、協働で取り組んでいけたらと思います。

「学年月別レファレンス記録一覧」
書架の上に展示。

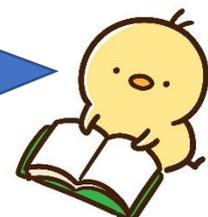


「レファレンス資料」はファイリングし、5年保存

「パスファインダー」
こちらも書架の上に展示。
自由に活用できる。



図書館にこんなにたくさんの資料があるなんて、まさに「情報センター」だね！



◇図書館の資料や場所を活用した授業実践

■各教科等と連携した読書旬間の取組み

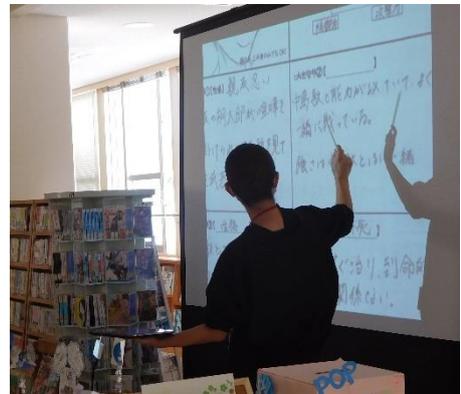
「文壇ストレイドッグス 文壇で活躍する(した)作家をキャラクター化せよ」

(沖縄県立名護高等学校)

授業内容は、マンガ『文壇ストレイドッグス』を参考に、文壇で活躍する(した)作家を生徒がキャラクター化するというものです。

《授業》

- 1 まず、図書館にプロジェクターとスクリーンを設置して、学習内容の説明をし、生徒に学習の見通しを立てさせます。
- 2 館内には情報収集のための資料をブックトラックに集め設置しておきます。



使用したワークシート
※ダウンロードできます。参考にしてください

先生方おススメの作家の著作物などをブックトラックに集めて展示



《図書館内に特集コーナーを設置》

文豪に関する特集コーナーを設置して、文豪に関する図書やクイズを掲示しました。



《授業後は生徒の成果物を展示》

図書館前廊下に生徒が作成したキャラクターを展示しました。生徒や職員による投票を実施します。



投票基準

- ① 絵の上手下手は関係ない。
- ② 能力名と作者の作風や人となりが見えるかどうかを見る。

投票方法

- ・ 基準を満たしていると思うものにシールを貼る。
※シールの色は関係ありません。

結果発表

結果についても
掲示しました

授業者より
コメント



読書旬間の取り組みとして何をするかと考えた時に、私の頭の中に真っ先に思い浮かんだのが、スマートフォンを覗き込んでいる生徒の姿でした。現代はインターネットが普及し、手軽にいつでもどこでも音楽や動画を楽しむことができます。本校の生徒たちも、お昼時間や放課後には、みな様にスマートフォンを覗き込んでいます。彼らのスマホの中には、YouTube や Twitter、Instagram や TikTok など、刺激的で「見て楽しい」コンテンツがたくさんあります。

しかし、だからこそ、どうにかして【本】に興味を持たせることはできないかと考えました。その結果、実践したのが漫画『文壇ストレイドックス』をヒントにした【文壇ストレイドックス】です。【好きな作家を1人選んでキャラクター化する】という授業を実践してみると、生徒たちは私が思っていた以上に熱心に取り組んでくれました。

「作家誰にした?」「異能力何にした?」と会話している姿、そして実際に本を手に取りパラパラとめくっている姿を見ることで、彼らの日常の中に【本】が入り込む隙間ができたのではないかと思います。そしてその隙間こそが、本実践の大きな成果ではないかと思っています。

また、本実践は、Microsoft のプレゼンテーションアプリである Sway を活用してスライドを作成し、リンクを Teams に貼り付けることで、生徒の端末からも本実践の概要が分かるように工夫しました。今回の取り組みがきっかけとなり、今度は彼らが何でもない日にふらっと図書館に現れて、何となく本を手取る日が来るといいなと思っています。

県立名護高等学校 国語科 翁長秋乃教諭



取組み内容の詳細については、次ページにも掲載しています。参考にしてください。

令和5年度 学校図書館司書研修会(県立図書館主催)における実践発表より

令和5年度学校図書館司書研修会において、名護高校の翁長秋乃教諭と真栄城百花学校司書の発表内容を掲載します。

実践事例「ICT 機器とブラウザアプリ等を活用した読書推進の取組み」沖縄県立名護高等学校

1 文学作品『山月記』×「文壇ストレイドッグス」



漫画(アニメ)の*『文豪ストレイドッグス』をヒントに、「文壇ストレイドッグス」と称して、文学作品に関心をもって取り組めるよう以下の手順で実践をしました。

沖縄県立名護高等学校
教諭 翁長秋乃先生

*『文豪ストレイドッグス』(カドカワコミックス・エース)
朝霧 カフカ(原作),春河 35(漫画)

- (1) 生徒に次のワークシートを配布し、作家を一人選んで、その作家をキャラクター化することを説明する。

- (2) ^{スウェイ}Sway (Microsoft のアプリ)を使って 今からやる授業の説明プレゼンテーションを作成、このプレゼンの URL を ^{チームズ}Teams (Microsoft のアプリ)に送る。
生徒は、この Teams からプレゼンを見ることができる。

動画を埋め込むこともできるので、「文豪ストレイドッグス」を知らない生徒に向けて、角川が YouTube にアップしている動画を見せました。生徒たちは興味をもって見てくれました。生徒の興味を引いたところで、作成したプレゼンテーションを使って、こういう授業をするよという説明をしました。名護高校の先生方の「好きな作家」も紹介しました。



- (3) 学校司書の百花さんに依頼をして、図書館に「特設コーナー」をつくってもらった。
文豪関連の書籍を並べてもらったり、先生方の好きな作家の著作を並べてもらったりした。



先生方の好きな作家の著作物を展示しました。



沖縄県立名護高等学校
学校司書 真栄城百花さん



上の枠内にあるように、文豪の紹介も一緒に掲示しました。それにより、著作物を読むことにつながっていました。また、授業を受けた2年生だけでなく、1、3年生も興味深そうに見ていました。



作家のことや著作物について調べていないと異能力名を思いつかないので、自分でさらに調べたり、本を読んだりする生徒の姿も見られました。

(4) 生徒作品を図書館前に掲示して、職員や生徒による投票を実施した。

投票は、好きな作品にシールを貼るといった方法で行った。



秋乃先生

投票用のパネルは、司書の百花さんに作成してもらいました。

多くの作品を見てもらって作家・著作物に興味をもってほしかったので、好きな作品には全てシールを貼ってよいことにしました。

友だちと話しながらシールを貼っていましたよね。図書館前廊下なので、他学年の生徒も職員も貼っていましたよ。



百花さん

(5) 投票結果を掲示しました。

投票の基準としては、

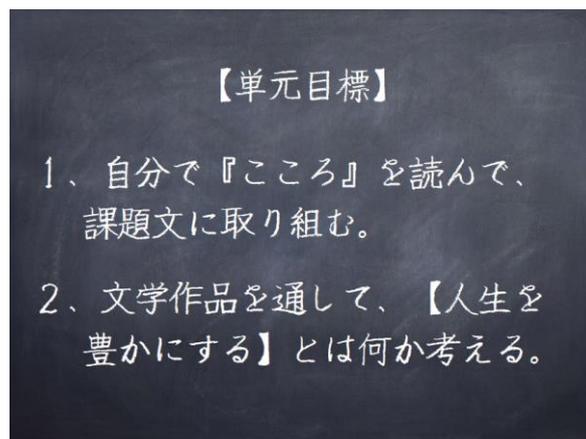
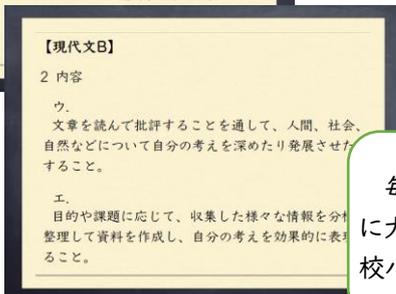
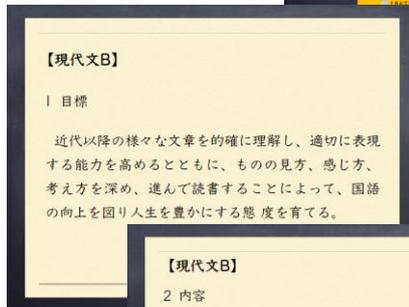
- ① 人となりをしていねいに調べている。
- ② どういう作家でどういう創作をしているのか調べた上で能力を考える。
- ③ 作家の人となりと能力がリンクしていること。※これが重要



1~3位以外に「秋乃先生賞」「百花さん賞」「人気賞」を設定。生徒の個性が見られた取組みでした。

2 文学作品『ころも』×学問〇〇 ~Kを思いとどまらせるためには~

(1) 課題について説明をする(スライド) ※ここで出す課題は、期末テストにおいて実施する。



毎回、学習指導要領の関連項目を生徒に見せています。その中でも特に大事なところを共有します。重要な箇所には線を引き、その箇所を名護高校バージョンとして「単元目標」に設定します。

単元目標

1 自分で『ころ』を読んで、課題文に取り組む。…授業で細かく読解しない

→要領の「すすんで読書をすることによって」を「自分で手に取って」と解釈して、目標に設定しました。

学校を巣立ったあとも身近に本を置くような人生であってほしいという願いをこめました。

2 文学作品を通して、【人生を豊かにする】とは何か考える。

→自分で考え、自分なりの答えをみつけようという意図で設定しています。

名護高生に身に付けてほしい8つの能力・資質

□主体性 自分を成長させようとする力	□探究力 学び続けようとする力
□行動力 自ら行動を起こそうとする力	□国際理解力 広い視野で物事を見る力
□実践力 自ら挑戦する力	□協調性 相手と助け合える力
□判断力 物事を多面的に考え、理解する力	□継続性 粘り強く取り組もうとする力

- ・主体性 自分を成長させようとする力
- ・行動力 自ら行動を起こそうとする力
- ・実践力 自ら挑戦する力
- ・判断力 物事を多面的に考え、理解する力
- ・探究力 学び続けようとする力
- ・継続性 粘り強く取り組もうとする力

この課題文を書くことによって、この6つの力がつくよ、ということも生徒と共有しました。



沖縄県立名護高等学校
教諭 翁長秋乃先生

(2) 課題文の詳細について説明をする(スライド)

課題

【テーマ】ころ×〇〇 ~Kを踏み止まらせるためには~

次の手順に従って200字以内で記述せよ。

【手順1】選択肢の中から自分の興味のある学問分野を1つ選ぶ。

- ・医学 ・行動学 ・心理学 ・看護学 ・教育学 ・歴史学 ・恋愛学
- ・社会政治学 ・スポーツ学 ・ジェンダー学 ・その他(〇〇学)

【手順2】選択した学問分野の観点から「Kを踏み止まらせる手立て」を考える

【条件】Kを取り巻く環境を踏まえて書く



この課題文を書くときのポイントは、Kの置かれている境遇を踏まえて書くことです。自分の気持ち・意見だけを書いてはいけません。



百花さんなら、どの学問分野からアプローチしますか？

私なら「その他」を選び、「図書館学」という分野からKにアプローチします。司書としてKに図書館に来てもらって、本を提供したりとかそういう形でKのメンタルとか視野を広げられたらいいなと思います。秋乃先生はどうしますか？



私は恋愛学！これを一回突き詰めてKと問答方式でやっていきたい。

どの学問を選んでもおもしろそうですね。



(3) レポートの書き方の確認をする(スライド)

最後にレポートの書き方について説明、確認してスライドを終わります。

STEP1 テーマの設定	課題の理解	テーマの決定	論理の組み立て
STEP2 文献調査	情報収集	情報整理	
STEP3 執筆	論点の明確化	アウトラインの作成	論述 推敲
STEP4 形式を整える	引用・参考文献リストの作成	体裁の確認	



(4) レポートの書き方の確認をする(スライド)

生徒が自宅に帰ってもこの取り組み内容がわかるように「Google サイト」というアプリをつかって「特設サイト」をつくりました

→小説『ころ』【3年/翁長クラス】

このサイトのQRコードを読み取ると、いつでも閲覧ができるようになっています。

さらにteamsにこのサイトのURLを貼りつけることで、生徒が自宅からでも閲覧できるようにしました。

(5) 期末テストの前に練習問題 「羅生門」

練習課題

【羅生門】下人を救う手立てを考える。

下人は最後、泥棒になってしまうので、泥棒になろうとしている下人を思いとどまらせるために、カウンセリングの視点を踏まえてどのようにアプローチしますか。



Google formsを活用して解答を集めました。生徒は、アプローチ方法を考えて送信します。翌日、授業で生徒に共有しました。特に、カウンセリングの視点に立って、しっかり調べて書いている生徒の作品を共有しました。

沖縄県立名護高等学校
教諭 翁長秋乃先生

(6) 図書館に特設コーナーを設置

夏目漱石関連の本と11の専門分野の本を展示しました。



この授業の話聞いた時からおもしろそうだったので、図書館でもコラボさせてくださいと特設コーナー設置しました。本校の資料だけでなく近くの公共図書館からも資料を集めて展示しました。

沖縄県立名護高等学校
学校司書 真栄城百花さん

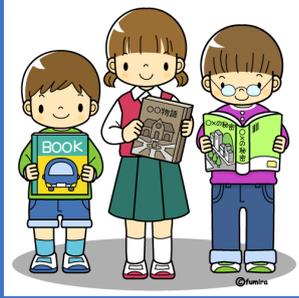


(7) 成果と課題



さまざまな答えがあり採点が楽しかったです。しっかり調べている子の文章は説得力があります。事前の取り組み具合が文章に反映される設問になったと思います。

ただ、課題が一つあります。それは生徒の情報収集のしかたです。ほとんどの生徒が情報をネットで集めていました。情報の信ぴょう性から本を読んでほしかったのですが…。アナログ資料をどう活用させるかが課題となりました。



沖縄県立図書館ホームページ「学校図書館支援」では、
学校図書館の取組みについて情報提供します。内容につ
いては随時更新してまいります。